

3 【分析1】調査の概要及び教科の調査結果の分析

(1) 「基礎・基本」定着状況調査

① 調査の概要

(ア) 調査の目的

- 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力、表現力などの学力の状況を把握する。
- 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握する。
- 各学校が全県的な結果と比較・分析することを通して、自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。
- 児童生徒の学力及び学習の状況を明らかにし、県の教育行政施策に生かす。

(イ) 調査対象 小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年
中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年

(ウ) 実施期日 平成28年6月7日（火）

(エ) 調査内容

- 国語、算数・数学、理科、英語（中学校のみ）における前学年までの学習内容の定着状況調査

*タイプⅠ：教科で身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼすなどの基礎的・基本的な内容

*タイプⅡ：教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに係る内容

- 生活と学習に関する意識・実態についての児童生徒質問紙調査
- 指導方法等についての学校質問紙調査

(オ) 調査実施学校数及び集計対象者数（県内公立学校）

学 年	調査実施学校数	集計対象者数
小学校第5学年・特別支援学校小学部第5学年	481 校	23,240 名
中学校第2学年・中等教育学校第2学年・特別支援学校中学部第2学年	242 校	21,442 名

※ 集計対象者数…欠席した児童生徒、途中から入室し調査を始めたり、途中で退室し調査をやめたりした児童生徒、あるいは、放送設備の故障や聴覚障害等により音声問題に取り組むことができなかった児童生徒を調査対象者数から除いた数

② 教科調査の結果

○小学校

タイプⅠは、調査を実施した全ての教科において、平均通過率が60%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容は、おおむね定着していると考えられる。

タイプⅡは、調査を実施した全ての教科において、平均通過率が60%を超えていないことから、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに課題があると考えられる。

	タイプⅠ	タイプⅡ	教科全体
国語	68.0	36.7	63.7
算数	74.9	52.0	69.4
理科	68.1	46.7	60.6

○中学校

タイプⅠは、国語、数学、英語で平均通過率が60%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容は、おおむね定着しているが、理科は課題があると考えられる。

タイプⅡは、国語で平均通過率が60%を超えていることから、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などは、おおむね身に付いているが、数学、理科、英語は課題があると考えられる。

	タイプⅠ	タイプⅡ	教科全体
国語	71.8	60.6	69.7
数学	69.6	57.3	66.8
理科	54.4	48.3	51.8
英語	72.6	53.0	69.6

(ア) 通過率等の経年変化

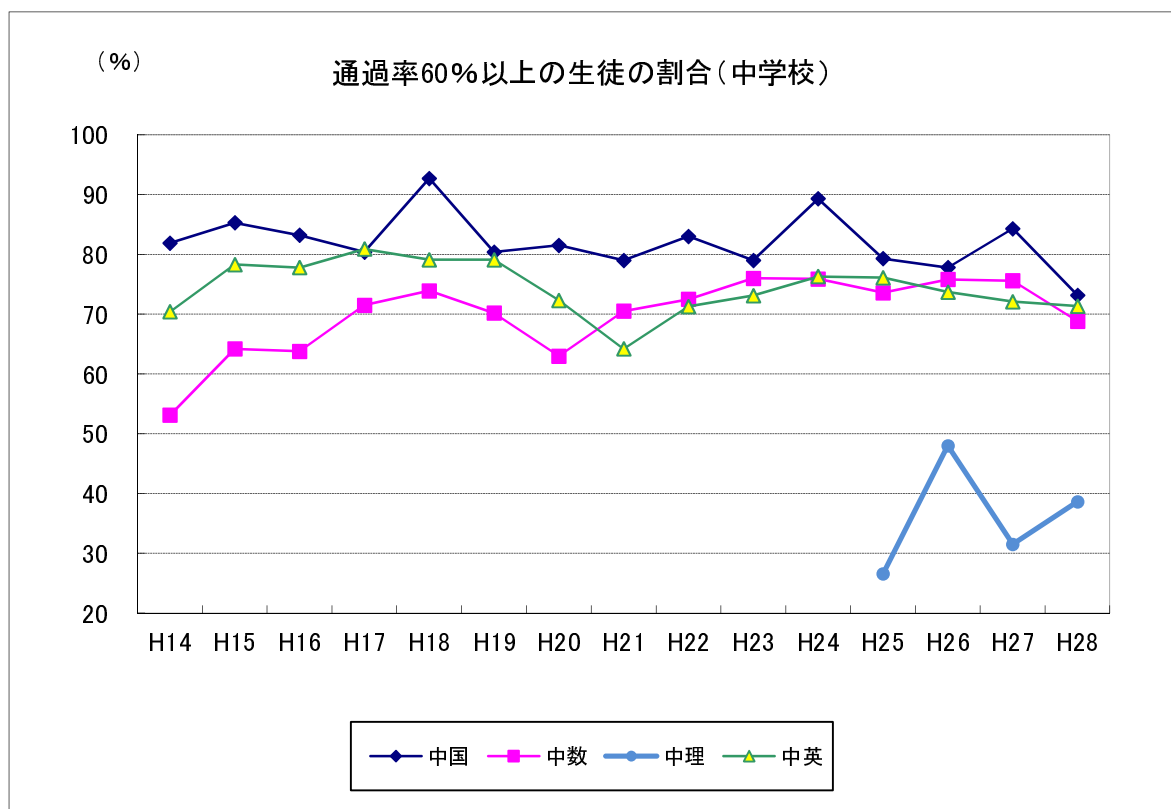
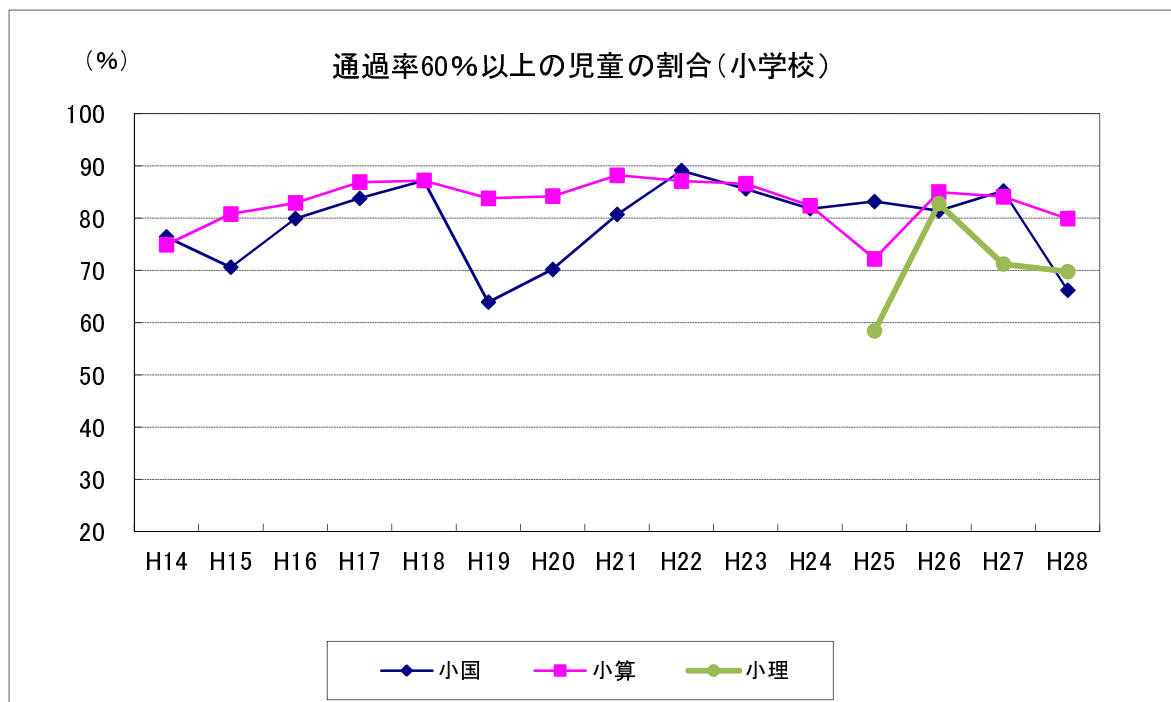
○タイプⅠ

	年度	小学校			中学校			
		国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語
平均通過率 (%)	H28	68.0	74.9	68.1	71.8	69.6	54.4	72.6
	H27	78.3	78.5	69.7	75.7	74.2	51.0	70.2
通過率80%以上の児童生徒の割合 (%)	H28	29.7	52.2	30.2	41.4	36.0	16.1	45.0
	H27	56.1	59.4	27.9	51.1	50.4	10.2	39.6
通過率60%以上の児童生徒の割合 (%)	H28	66.2	79.9	69.8	73.2	68.8	38.6	72.0
	H27	85.2	84.1	71.2	84.3	75.6	31.5	72.1
通過率30%未満の児童生徒の割合 (%)	H28	4.1	2.9	2.3	4.2	5.2	15.7	3.4
	H27	2.5	1.6	3.8	1.3	5.5	17.1	4.7
標準偏差	H28	20.3	19.8	19.7	19.3	20.3	23.1	20.6
	H27	18.7	18.6	18.5	16.9	21.4	21.5	21.5

○タイプⅡ

	年度	小学校			中学校			
		国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語
平均通過率 (%)	H28	36.7	52.0	46.7	60.6	57.3	48.3	53.0
	H27	58.3	49.4	55.0	64.8	57.2	49.1	60.6

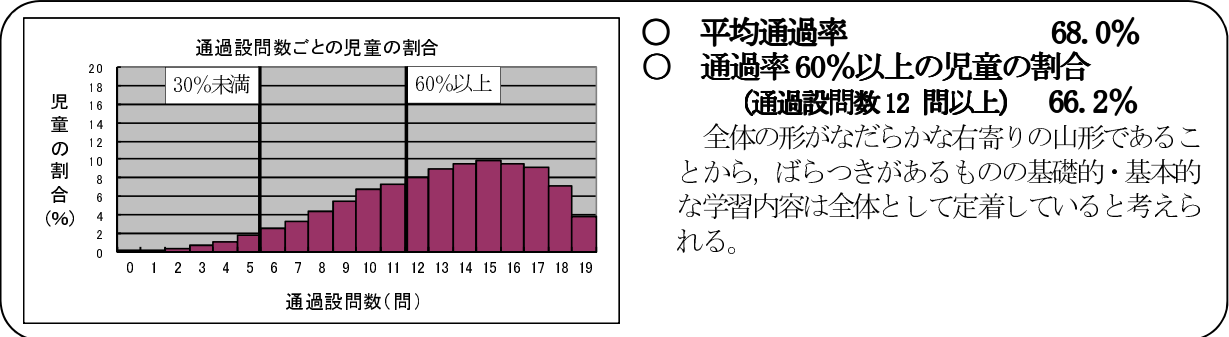
○タイプⅠにおける通過率60%以上の児童生徒の割合の経年変化



(イ) 教科における学習内容の定着状況の概要

小学校国語

○ タイプⅠの状況



領域等の定着状況

【聞くこと】 80.0%	かなり定着	【書くこと】 66.6%	おおむね定着
【読むこと】 55.8%	定着が不十分	【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 68.6%	おおむね定着

通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 第3学年の漢字の読み
〈設問 三 1③〉 91.4%
- 要点の聞き取り
〈設問 一 1〉 90.7%
- よりよい表現への書き直し
〈設問 四 2(3)〉 90.5%

通過率 60%未満の設問(下位3問)

- 中心となる語や文の把握
〈設問 三 7〉 25.8% P73
- 目的に応じた記述
〈設問 四 2(1)〉 41.5% P74
- ローマ字の書き
〈設問 二 2①〉 52.3% P75

○ タイプⅡの状況

通過率 60%以上の設問

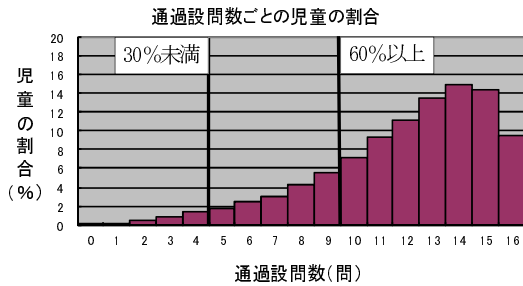
- 文章の構成
〈設問 五 1構成〉 63.8%
・段落相互の関係などに注意して文章を構成することは、おおむねできている。

通過率 60%未満の設問

- 情報の取り出し・理由や事例を挙げた記述
〈設問 六 1〉 16.3%
- ・複数の資料から必要な情報を取り出し、それらと関係付けて論理的に説明することに課題がある。
- 情報の取り出し・情報を関係付けた記述
〈設問 五 1情報〉 29.9% P93
- ・目的や必要に応じて情報を取り出し、それらと関係付けて書くことに課題がある。

小学校算数

○ タイプIの状況



○ 平均通過率 74.9%

○ 通過率60%以上の児童の割合
(通過設問数10問以上) 79.9%

全体の形がはっきりとした右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域の定着状況

【数と計算】	85.3%	かなり定着	【量と測定】	70.2%	おおむね定着
【図形】	62.4%	おおむね定着	【数量関係】	66.4%	おおむね定着

通過率60%以上の設問(上位3問)

- 3位数+3位数
〈設問 1 (1)〉 94.3%
- 3位数-2位数
〈設問 1 (2)〉 91.6%
- 小数の減法
〈設問 1 (5)〉 88.8%

通過率60%未満の設問

- ひし形の判断
〈設問 7〉 52.1% P76
- 一つの式で表す
〈設問 9〉 56.9% P77

○ タイプIIの状況

通過率60%以上の設問

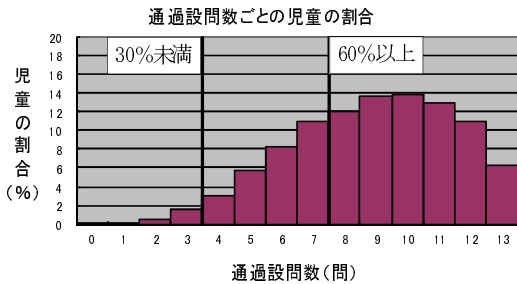
- 事象の観察と情報の選択
〈設問 11 (1)〉 70.7%
・階段から図形を見だし、示された部分の長さを求めるために必要な情報を選択することは、おおむねできている。

通過率60%未満の設問(下位3問)

- 目的に応じた計算結果の見積り
〈設問 10 (1)〉 36.4% P95
- ・目的に応じて計算の結果の見積りをし、計算の仕方や結果について適切に判断することに課題がある。
- 折れ線グラフと棒グラフの関連付け
〈設問 10 (2)〉 42.2%
・折れ線グラフと棒グラフから特徴や傾向を読み取ることに課題がある。
- 事象の解釈と根拠の説明
〈設問 11 (3)〉 52.7%
・硬貨の種類と枚数を比較し、一方の支払い方のほうが、おつりの枚数が少なくなる理由を、言葉と数を用いて記述することに課題がある。

小学校理科

○ タイプⅠの状況



○ 平均通過率 68.1%

○ 通過率 60%以上の児童の割合
(通過設問数8問以上) 69.8%

全体の形が右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域の定着状況

【物質】 66.4%	おおむね定着	【エネルギー】 59.1%	定着が不十分
【生命】 82.6%	かなり定着	【地球】 68.8%	おおむね定着

通過率 60%以上の設問 (上位3問)

- 温度の正しいはかり方
〈設問 7 (3)〉 96.9%
- 骨の役割
〈設問 6 (2)〉 90.3%
- アルコールランプの正しい使い方
〈設問 2 (1)〉 88.5%

通過率 60%未満の設問 (下位3問)

- 物の重さのはかり方
〈設問 1 (1)〉 44.6% P78
- 太陽と地面の様子
〈設問 7 (4)〉 53.0% P79
- 直列つなぎの回路のつなぎ方
〈設問 4 (2)〉 55.0% P80

○ タイプⅡの状況

通過率 60%以上の設問

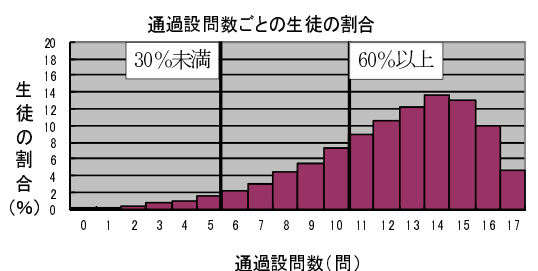
該当なし

通過率 60%未満の設問 (下位3問)

- 太陽の動きと影の関係
〈設問 7 (1)〉 26.4% P97
・正午にかけができる位置を太陽の動きから推測することに課題がある。
- 物質の磁石と電気に対する性質
〈設問 3 (2)〉 36.8%
・物質が、磁石に反応したりしなかったりする性質や、電気を通したり通さなかったりする性質を複合的に考えることに課題がある。
- 物の重さと体積の関係
〈設問 1 (2)〉 45.9%
・重さと体積の関係を捉えて考えることに課題がある。

中学校国語

○ タイプⅠの状況



○ 平均通過率 71.8%

○ 通過率 60%以上の生徒の割合
(通過設問数 11 問以上) 73.2%

全体の形がはっきりとした右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域等の定着状況

【聞くこと】	87.9%	かなり定着	【書くこと】	58.7%	定着が不十分
【読むこと】	62.7%	おおむね定着	【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】	75.6%	おおむね定着

通過率 60%以上の設問 (上位 3 問)

- 文語のきまり
〈 設問 二 2 (1) 〉 93.8%
- 要点の聞き取り
〈 設問 一 1 〉 89.4%
- 目的に応じた取材
〈 設問 一 2 〉 86.4%

通過率 60%未満の設問

- 叙述の仕方の確認
〈 設問 四 3 〉 35.9% P81
- 要旨の把握
〈 設問 三 5 〉 53.7% P82
- 段落相互の関係の把握
〈 設問 三 3 〉 54.9% P83

○ タイプⅡの状況

通過率 60%以上の設問

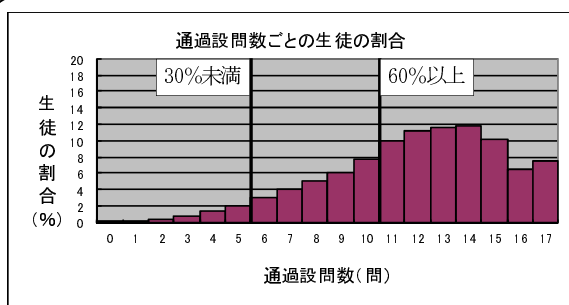
- 情報の取り出し
〈 設問 五 1 (2) 〉 81.4 %
・ 文章に表れているものの見方や考え方に
関する情報を取り出すことは、かなりで
きている。
- 情報の取り出し
〈 設問 五 1 (1) 〉 63.6%
・ 目的に応じて詩の内容を読み取ることは、
おおむねできている。

通過率 60%未満の設問

- 根拠に基づいた考えの記述
〈 設問 五 2 記述 〉 38.9 % P99
・ 詩の共通点を踏まえ、根拠を明確にして
自分の考えを書くことに課題がある。
- 目的に応じた引用
〈 設問 五 2 引用 〉 58.5 %
・ 目的に応じて詩の中から必要な言葉を正
しく引用することに課題がある。

中学校数学

○ タイプIの状況



○ 平均通過率 69.6%

○ 通過率 60%以上の生徒の割合
(通過設問数 11 問以上) 68.8%

全体の形がなだらかな右寄りの山形であることから、ばらつきがあるものの基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域の定着状況

【数と式】 69.6%	おおむね定着	【図形】 67.9%	おおむね定着
【関数】 77.8%	おおむね定着	【資料の活用】 64.0%	おおむね定着

通過率 60%以上の設問(上位 3 問)

- 小数の減法
〈 設問 1 (1) 〉 94.6%
- 四則の計算
〈 設問 1 (2) 〉 89.5%
- 式の値
〈 設問 1 (5) 〉 85.1%

通過率 60%未満の設問

- 文字式の表し方
〈 設問 2 (2) 〉 34.3% P84
- 文字式の表し方
〈 設問 2 (1) 〉 38.2% P84
- 作図の根拠
〈 設問 4 〉 59.8% P85

○ タイプIIの状況

通過率 60%以上の設問

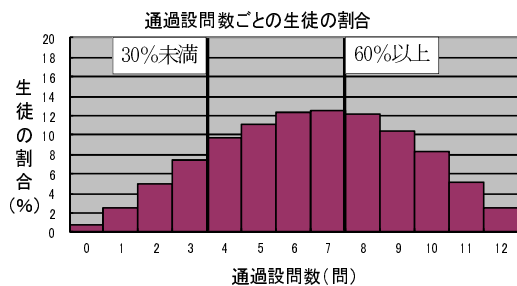
- 事象の図形的な考察
〈 設問 9 〉 81.2%
・ 図から必要な情報を適切に選択し、空間における図形の位置関係を適切に捉えることは、かなりできている。
- 情報の適切な選択と判断
〈 設問 11 (1) 〉 60.1%
・ 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することは、おおむねできている。

通過率 60%未満の設問

- 事象の解釈と表現
〈 設問 10 (2) 〉 36.8% P101
・ 事象を式の意味に即して解釈し、その結果について考えることに課題がある。
- 事象の解釈と問題解決の方法
〈 設問 10 (1) 〉 53.6%
・ 比例を利用して、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
- 情報の適切な選択と判断
〈 設問 11 (2) 〉 54.7%
・ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

中学校理科

○ タイプIの状況



○ 平均通過率 54.4%

○ 通過率60%以上の生徒の割合
(通過設問数8問以上) 38.6%

全体の形は山形であり、ばらつきがある。通過率30%未満の生徒の割合が15.7%であることから、基礎的・基本的な学習内容は、全体として定着が不十分であると考えられる。

領域の定着状況

【物理】	41.9%	定着が不十分	【化学】	47.4%	定着が不十分
【生物】	62.6%	おおむね定着	【地学】	65.6%	おおむね定着

通過率60%以上の設問(上位3問)

- 振動と音
〈設問 1 (1)〉 80.3%
- 地震計の記録の読み取り
〈設問 7 (2)〉 70.3%
- 根のようすによる分類
〈設問 5 (2)〉 69.4%

通過率60%未満の設問(下位3問)

- 力の表し方
〈設問 2 (2)〉 12.2% P86
- 液体の混合物を分離する方法
〈設問 4 (3)〉 25.0% P87
- 質量
〈設問 2 (1)〉 33.1% P88

○ タイプIIの状況

通過率60%以上の設問

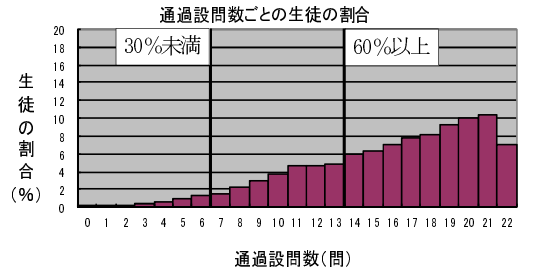
- コケ植物の生息環境
〈設問 6 (3)〉 79.8%
・コケ植物の生息条件を基に生息場所を推測することは、おおむねできている。
- 仮説に基づいた実験結果の予想
〈設問 1 (2)〉 74.4%
・音の高さについて、仮説が正しい場合の実験結果を予想することは、おおむねできている。
- 水溶液の均一性
〈設問 3 (1)〉 68.4%
・水溶液中の溶質の均一性を実験結果から導くことは、おおむねできている。

通過率60%未満の設問(下位3問)

- 単子葉類と判断する根拠
〈設問 5 (1)〉 19.7% P103
・植物の観察結果を基に考察し、植物を分類することに課題がある。
- 溶質の再結晶
〈設問 3 (2)〉 22.6%
・水溶液を冷やしたときの再結晶について、溶解度と関係付けて捉えることに課題がある。
- 実験結果を分析・解釈して、結論を導き出す
〈設問 4 (4)〉 31.4%
・実験結果を分析・解釈し、採集した液体の様子を推測することに課題がある。

中学校英語

○ タイプⅠの状況



○ 平均通過率 72.6%

○ 通過率 60%以上の生徒の割合
(通過設問数 14 問以上) 72.0%

全体の形がなだらかな右寄りの山形であることから、ばらつきがあるものの、基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域の定着状況

【聞くこと】 71.2% おおむね定着 【読むこと (実技を含む)】 74.9% おおむね定着
 【書くこと】 68.3% おおむね定着 【話すこと (実技)】 77.3% おおむね定着

通過率 60%以上の設問 (上位 3 問)

- リスニング問題 (英文の内容の理解)
〈 設問 3 〉 96.1%
- 基本的な文のきまりを理解した作文
〈 設問 6 2① 〉 94.3%
- リスニング問題 (概要や要点の把握)
〈 設問 4 1 〉 83.4%

通過率 60%未満の設問 (下位 3 問)

- リスニング問題 (概要や要点の把握)
〈 設問 4 2 〉 51.5% P89
- リスニング問題 (英語での問いかけに対する適切な応答)
〈 設問 1 2 〉 52.7% P90
- 基本的な文のきまりを理解した作文
〈 設問 6 2② 〉 55.8% P91

○ タイプⅡの状況

通過率 60%以上の設問

- まとまりのある一貫した英語の文章を書く
〈 設問 12 〉 64.8%
・自分のことについて、自然な流れを意識してまとまりのある文章を書くことは、おおむねできている。
- 情報を基にした概要や要点の理解
〈 設問 11 3 〉 62.9%
・情報を基に、中心となる事柄を正確に読み取ることは、おおむねできている。

通過率 60%未満の設問

- 適切な質問を考え英文を書く
〈 設問 11 1 〉 32.2% P105
・情報を基に、それに関連する質問を考え、英文を書くことに課題がある。
- 根拠となる英文の読み取り
〈 設問 11 2 〉 52.0%
・根拠をもって、理由を読み取ることに課題がある。